

NPO等からの協働事業提案（新しい公共の場づくりのためのモデル事業分）

平成24年度中間報告書

1 事業実施内容

事業名	県域における大規模地震等発生時の外国人住民支援システム構築事業	
事業実施主体名	公益財団法人 三重県国際交流財団	
事業概要	県内には、約46,800人（県人口に占める割合全国第3位）もの多くの外国人が暮らしていますが、県の地域防災計画においては、災害時要援護者である外国人住民を支援する方策が具体化されていないのが実状です。本提案事業は、県内における大規模地震等発生時に外国人住民を支援する新たな仕組みを、多様な主体との連携のもとで県と協働して創ることを目的とするものです。	
委託額	平成23年度	—
	平成24年度	2,500,000円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	●協働事業参加組織	
	三重県（防災企画・地域支援課、多文化共生課、男女共同参画・NPO課）	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
	5月10日	県域における災害時外国人支援の状況と今後の対応について 今後の災害時外国人住民支援の具体的対策について
	6月27日	先進事例を持つ国際交流協会への視察報告① みえ多言語支援センターの設置・運営に関する協定（素案）について
	8月7日	先進事例を持つ国際交流協会への視察報告② みえ災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定（案）について 多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議について
8月29日	協定（案）について、センターの設置・運営等について、多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議について	
取組内容	<p>●これまで取り組んできた内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 協働事業提案を検討するための場として「つたわるネット推進会議」を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・県との協働によるつたわるネット推進会議開催（4回） ・多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議準備 2 協定案、実施要領案、マニュアル案作成 3 先進事例を持つ国際交流協会への視察・報告 4 災害パートナーの募集登録 <p>●当初（採択時）に計画していた内容から変更したこと</p> <p>多様な主体と情報を届けるしくみについて検討する会議の名称の変更（当初）災害時外国人住民支援実施要領・マニュアル策定検討会（変更）多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議</p> <p>●現状の成果と課題</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①県との協議により災害時の外国人支援システム案が一定の方向にまとまりつつある。 ②先進地の視察により、協定項目をはじめ多言語支援センターの迅速かつ円滑な運営のために、必要な研修や運営シミュレーションを繰り返し行うことの必要性がクリアになった。 	

<p>今後（平成 24 年 度下半期）の 取組予定内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 県との協働によるつたわるネット推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ① 協定の締結 ② 実施要領、マニュアルの作成 ● 多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議メンバー（案）：市町、市町国際交流協会、外国人団体、災害パートナー、民間団体（多文化共生、災害支援）、大学、企業、及び県関係課（3 課） ・ 検討内容 <ul style="list-style-type: none"> ① より多くの外国人住民に情報を届ける方法について ② 外国人住民を災害弱者にしないため必要な取組みについて（自助、共助、公序） ③ みえ災害時多言語支援センターの運営に対し必要となる研修等について ● 災害パートナーの募集・登録
<p>平成 25 年度以降 の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害パートナーの募集・登録 ● 災害パートナー研修会&集う会開催 ● みえ災害時多言語支援センター運営マニュアル（仮称）に基づく支援活動のシミュレーション訓練

2 成果の達成状況等

<p>平成 24 年度に 達成しようと する成果</p>	<p>①大規模地震等発生時における「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定(案)の締結:県と財団の間 ②同協定に基づく設置・運営等実施要領及びマニュアルの作成 ③多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議の開催 ・外国人住民へ災害時の多言語情報を届けるしくみについて検討</p>			
<p>具体的な指標 の達成状況等</p>	<p>項 目</p>	<p>当初目標設定</p>	<p>9 月末日の 達成状況</p>	<p>平成 25 年 3 月末 達成見込み</p>
	<p>①県との災害時連携協定</p>	<p>目標値(協定締結) / 現状(協定なし)</p>	<p>検討中</p>	<p>協定締結</p>
	<p>②災害パートナー登録者数</p>	<p>目標値(40 名) / 現状(20 名)</p>	<p>33 名</p>	<p>40 名</p>
	<p>●成果指標の達成状況</p>			
	<p>①県との災害時連携協定について 協定案の検討もほぼ終了し、それぞれの組織において承認⇒協定締結の準備を進めているところである。8 月末時点で、概ね 80%の達成状況と思われる。 現在、協定案に基づいた実施要領やマニュアル作成にも着手し、年度末には完成予定</p> <p>②災害パートナー登録者数について 通訳・翻訳パートナーをはじめ、災害研修会において災害パートナーとしての協力を呼びかけてきたところ 13 名増の 33 名に協力いただけることとなった。(目標値 82.5%) 今後も引き続き募集に努め、目標値である 40 名確保に努めたい。</p>			
<p>●課題 および その改善方針</p>				
<p>・協定締結に向けた県との協働会議は今のところ順調に進んでいる。今後は、県の中での調整等を経て、年度内に協定締結できるよう努めていきたい。</p> <p>・また、今後は外国人へ情報を届ける方法や多言語支援センター(仮称)の運営等について、多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議において意見をいただきながら検証していくこととしたい。</p> <p>・多言語支援センター(仮称)の運営には多くの方の協力が必要となることから、外国人住民の協力による支援についても検討していきたい。また、災害時多言語支援センターを運営するコーディネーター的な人材の育成や市町での体制づくり等が課題と考えられることから、次年度以降も継続した検討の場が必要と思われる。これらの点についても、今後県と協議していきたい。</p>				
<p>現状の 自己評価</p>	<p>評価ランク</p> <p><input type="checkbox"/>S:特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>A:優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>B:一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C:限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D:成果が得られなかった (該当する評価にチェックを付けてください)</p>			